清水町地域公共交通活性化協議会 平成22年3月12日設置

概　要

清水町は、町内を移動する手段として、スクールバス･町有バスを運行しているが、市街地内での移動手段がなく、また、市街地の周縁部に公営住宅･団地が点在していることもあって、自家用車を持たない住民にとっては日常生活にも支障が出る事態となっているほか、高齢となっても自家用車の運転を余儀なくされているケースもある。このため、コミュニティバスやデマンド型交通の導入、スクールバスの運行体系再編など、効果的な交通サービスの提供に向けての調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

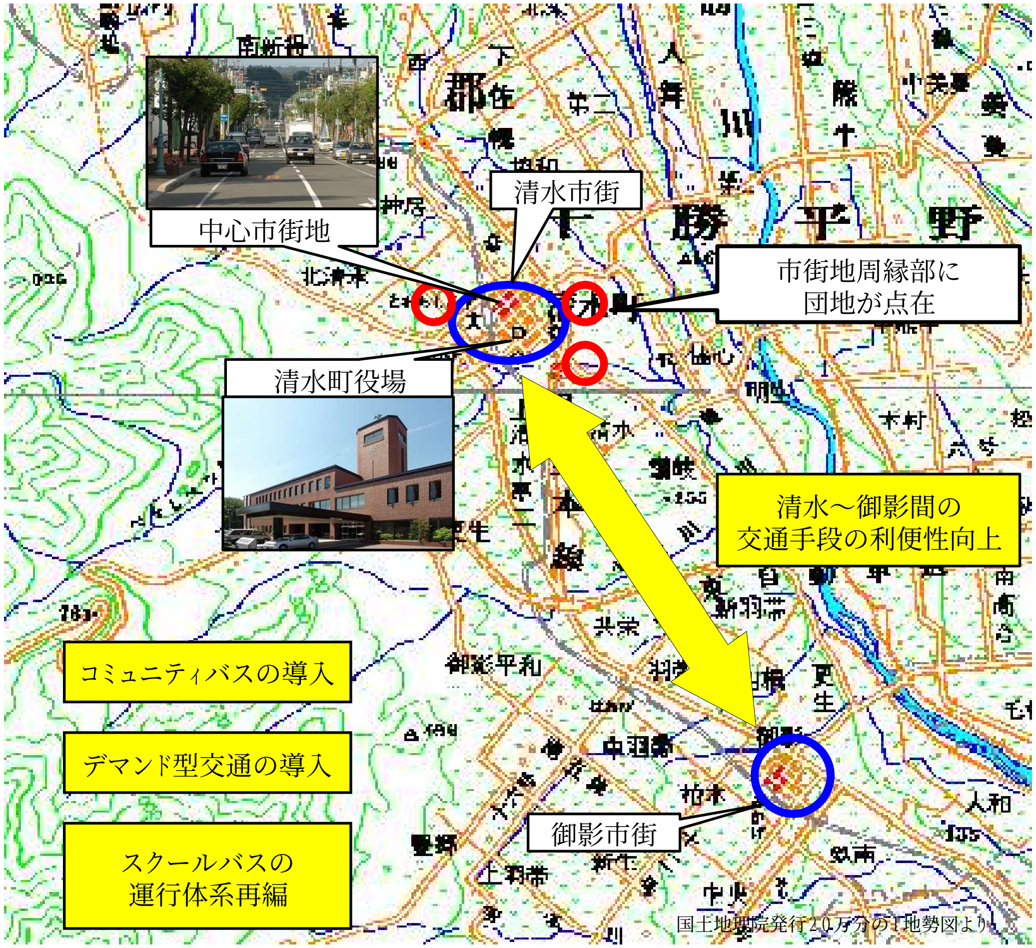
･ＪＲ根室本線（十勝清水駅、羽帯駅、御影駅）
･北海道拓殖バス（株）（1路線）
･スクールバス（12路線）、町有バス（1路線）
･その他（医療機関送迎、福祉輸送等）

○地域公共交通の課題

･高齢者等の生活交通の確保
･市街地内の交通空白地域の存在
･清水･御影両市街を結ぶ交通機関の利便性向上

○調査の主な内容

･現況交通実態調査
･利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）
･市街地巡回･清水御影間におけるｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞｽの試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

･コミュニティバスの導入
･デマンド型交通の導入
･スクールバスの運行体系再編